

## おわりに

今回作成した「JR広島駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」では、中四国地方最大の旅客施設であるJR広島駅の周辺を、本市の交通バリアフリーを進めるうえでの先導的な地区と位置付けて重点整備地区とし、各事業者が実施すべき特定事業とともに、市民、事業者、行政がそれぞれ協力しながら取り組む考え方を取りまとめました。

基本構想の目標年次は2010年としています。実施すべき事業の中には、JR広島駅の構内や愛宕こ線橋など大きい高低差があり、できるだけ早期のバリアフリー化が期待されるものも、低床車両の導入などやや長い期間での継続的な取り組みが必要なものもあります。もちろん、すべての人が今日からでも始めることのできる「心のバリアフリー」は、目標年次に関わらない、普遍的なものであることは言うまでもありません。

今後、このJR広島駅周辺地区における取り組みが、その他の旅客施設で交通バリアフリーを実現する際のモデルとなるよう、基本構想に掲げた事業の着実な推進が必要です。

なおJR広島駅周辺地区では、広島駅南口Bブロック市街地再開発事業や広島駅北口地区整備基本構想など、大規模な都市開発が予定もしくは検討されています。今回の基本構想では、これら計画中の都市開発については触れていませんが、計画が具体化する際には、交通バリアフリー法の主旨を踏まえ、交通バリアフリー化が進められる必要があります。

また、本基本構想についても、導入される機能や立地する施設等を考慮したうえで、必要な整合を図ることとなります。